

かし輪だより

R07-8



令和7年度 第8回地域協働学校運営協議会

令和8年2月17日(火)15時30分～16時30分 柏木小学校 算数教室

次 第

司会：副校長

- 1 校長挨拶
- 2 令和7年度学校生活アンケート(児童)結果報告(教務主幹)
- 3 3月の行事及び令和8年度年間行事予定について(教務主幹)
- 4 生活指導について(副校長)
- 5 運営協議会委員の皆様から
- 6 その他 ・令和8年度の地域協働学校運営協議会の予定について

❖ 校長挨拶

今年度最後の地域協働学校運営協議会となりました。今年度も皆様のご協力のおかげで、柏木小学校の教育活動を無事に進めることができました。次年度は2月26日に全国研究発表会を予定しています。前回と比べて教職員は覚悟ができ、子どもたちも外部の方に見られることに慣れ、自分たちの取組に少しずつ自信を持てるようになってきています。音楽会や各行事でも、その成果が表れていると感じています。今のよい状態で学校の取り組みを発信できることをありがたく思っています。今後とも、引き続きご協力をお願いいたします。

❖ 令和7年度学校生活アンケート(児童)結果報告(教務主幹)

柏木小学校では児童に前期・後期に学校生活アンケートを実施しており、区に提出する6項目については、多くの子が「あてはまる・ややあてはまる」という肯定的な回答をしています。一方で、「あまりあてはまらない・あてはまらない」と感じている子がゼロではない点を、学校としてしっかり受け止める必要があると考えています。校内では年3回のいじめに関する研修や、ふれあい月間でのアンケート・個別面談などを通して、いじめの未然防止や早期発見・対応に取り組んでいます。いじめやその兆しが見られた場合には、組織的に情報共有し対応する体制も整えています。また、教科担任制については、授業がわかりやすいと感じている児童が多く、全体として前向きに受け止められている結果でした。来年度も引き続き教科担任制を進めていく予定ですので、ご理解とご協力をお願いいたします。

❖ 3月の行事及び令和8年度年間行事予定について(教務主幹)

2月26日に1・2年生、3月3日に3・4・5年生の保護者会を予定しています。3月は24日に修了式、25日に卒業式を行います。例年どおり、6年生を送る会や柏葉学級の巣立ちの会も予定しています。

来年度の主な行事として、運動会は10月31日に実施予定です。周辺行事や柏葉学級の移動教室との日程を考慮して設定しました。来年度の文化的行事は展覧会で、12月17・18日を児童鑑賞日、19日を保護者鑑賞日とし、保護者の方と一緒に作品を鑑賞する機会を設けたいと考えています。個人面談は、今年度の様子を踏まえ、5月の連休明けに希望制で実施し、11月には全員面談を予定しています。2月26・27日は学校公開です。1日目は全国研究発表会を兼ねて実施し、2日目にはオープンスクールを行う予定です。来年度から夏休みは8月31日までとなります。夏休み明けの学校生活に向けて、8月末に希望制で図書館開放を行うことも検討しています。5・6年生の移動教室は夏休み前後となるため、子どもたちに負担もありますが、ご理解いただけますと幸いです。

❖ 生活指導について(副校長)

2月は年3回行っている「ふれあい月間」の3回目となり、現在、子どもたちへのアンケートを実施しています。このアンケートを通して、いじめの未然防止に力を入れるとともに、万が一何かあった場合にも、早期発見・早期対応につながるよう、職員一同で取り組んでいます。全体としては、子どもたちは落ち着いた様子で、大きな問題は見られていませんが、落ち着いている今の時期だからこそ、改めていじめ防止に関する基本方針の確認などを行い、日頃の対応を見直しています。

❖ 意見交換 テーマ「『よく考える』ということ」

- ・学校教育目標に「よく考える子」とありますが、改めて「考える」とは何かを、皆さんと一緒に考えたいと思いました。探究学習では「問いを立てること」が大切だと言われていますが、よく考える子とは、言われたことをそのまま受け取るのではなく、「なぜだろう」と疑問を持てる子、いわば従順すぎない子でもあるのではないかと、という視点で問題提起をしました。
- ・最近タイムパフォーマンス・コストパフォーマンスが重視され、目に見える事実だけで判断しがちですが、本当に大切なのは、関係性や気持ちなど目に見えない部分も含めて考えることだと思います。国語の物語文などにある不条理について語り合える力を育て、見えないものにも目を向けて考えられる子どもを育てていきたいと考えています。
- ・「よく考える」というのは、勉強ができるかどうかではなく、相手の立場に立って考えられるかどうかだと思います。できない人を見下したり、できないからと最初から諦めたり、人の気持ちを大切にしないことは「よくないこと」だと、はっきり伝えることが大事だと考えています。人間関係はうまくいかないことも含めて学びであり、みんながよりよく生きるにはどうすればいいかを考え続けることが、「よく考える」ことなのかなと思います。
- ・考える力は乳幼児期から育まれるものだと思います。まずは自分を大切に、遊びや人との関わりの中で想像力を働かせながら、人の気持ちに気づいていくことが大切です。正解のないやりとりやファンタジーの世界を受け止め合う経験を通して、立ち止まって考えられる力を育てていきたいと考えています。
- ・最近、すぐに答えが手に入る時代ですが、本当に大切なのは、答えが出ない状態に耐えながら考え続ける力だと思います。わからないことを無理に結論づけず、自分の中に問いとして持ち続けることや、何度も考え直す力が、これからの時代にはより必要になってくると感じています。
- ・考えるというのは、一人だけでなく、コミュニケーションを取りながら相手の気持ちも含めて判断していくことだと思います。自分の考えを貫く時もあれば、周りへの配慮を大切にしながら進んでいくことも必要だと感じました。
- ・子どもたちと関わっていると、「面倒だからこれでいいや」という言葉で思考を止めてしまう場面があります。しかしその裏には、わからないことへの戸惑いや、考え続けることへの負担感が隠れていることも多いと感じています。将来のためというよりも、今わからないことを「なぜだろう」と関心を持てる子になってほしいなと思います。
- ・子どもたちは一見考えていないように見えても、それぞれの中で何かを感じたり、考えたりしているのではないかと感じました。